

會田雄亮展

変貌する陶土

練込・陶壁・モニュメント

2005年5月31日(火)ー7月18日(月)

開館時間/午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/毎週月曜日(但し7月18日は開館) 6月6日、13日、20日、27日、7月4日、11日

入館料/一般300円(240円)、小中学生100円(80円)

※()内は10名以上の団体料金、60歳以上の方および障害者の方は入館無料、毎週土曜日は小中学生無料

◆講演会 6月4日(土) 午後2時より「変貌する陶土」講師:會田雄亮氏(陶芸家・東北芸術工科大学名誉教授)

渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 2-14-14

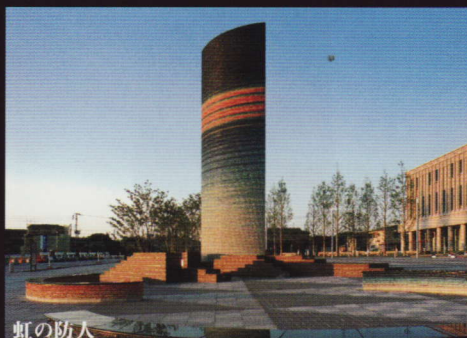
TEL.03-3465-9421

<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

陶壁・北帰行(部分)



練込水指・茶碗



虹の防人



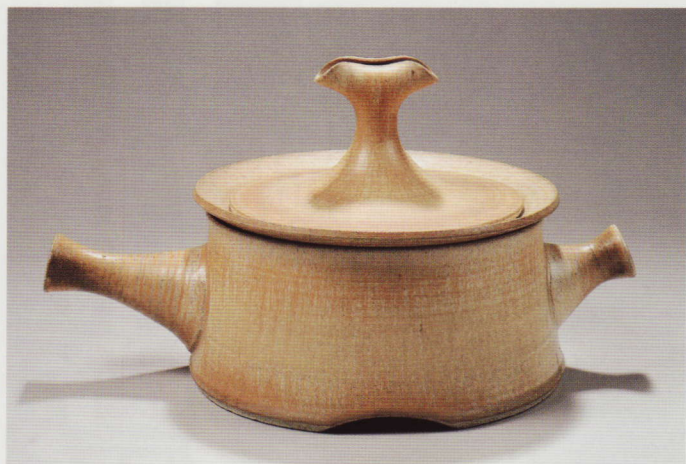
積層・月蝕

コレクション 練込の仲間達 寄木細工・モザイクガラス・ビーズ・金太郎飴・のり巻き

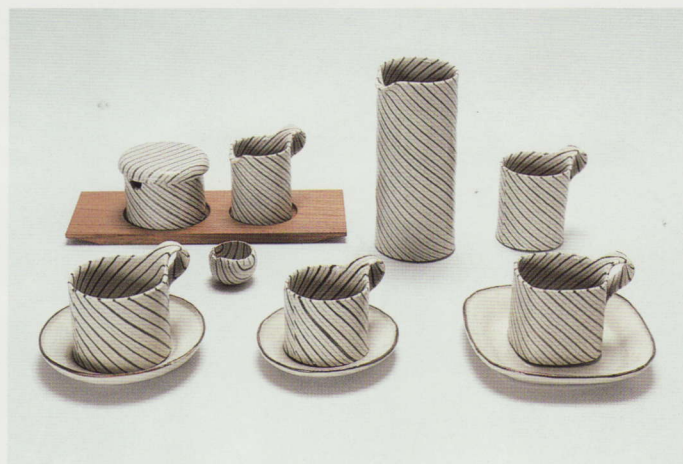
會田雄亮は1931年東京生まれ、千葉大学で都市計画を学んだ後、宮之原謙氏に師事し、陶芸の道に進みました。會田雄亮が製作する食器や花器は、色の異なった粘土を重ねて紋様を構成する練込によるもので、それらは端正であると同時にデザインの斬新さと発想のユニークさで高い評価を得ています。また會田雄亮は練込にこだわりつつ、常に陶土の可塑性を追求し、雄大な構想のもとに、建築の壁面、広場や庭園、モニュメントなどの環境造形にたずさわリ、陶芸のスケール

を、従来の範疇におさまらない壮大なものとし、陶土に新たな生命を吹き込んでいます。

本展では、練込作品を中心に陶壁や陶織など壁面作品に加え、環境造形作品の写真とマケットなど約180点によって會田雄亮作品の全貌を紹介するものです。同時に同氏が蒐集した中国唐時代の練込作品をはじめ、寄木細工やモザイクガラス、金太郎飴まで、練込と同技法で作られた「練込の仲間達」も展示、會田芸術の原点をさぐります。



キャセロール・クアエンツァ



練込食器セット・時雨シリーズ



山梨県立小瀬スポーツ公園モニュメントプラザ

【講演会】

6月4日(土)午後2時より「変貌する陶土」

講師：會田雄亮氏(陶芸家・東北芸術工科大学名誉教授)

【午後のコンサート】

二期会マイスターズ・ジンガー

「歌の花束コンサート」in 松濤美術館

6月12日(日)午後2時～4時頃

「夢路より」(フォスター) 「こうもり」より「歌え踊れ～公爵様貴方は～歌え踊れ～」(ヨハン・シュトラウス)ほか

※5月17日(火)までに往復ハガキにてお申し込みください。渋谷区在住、在勤、在学の方が対象です。

【ギャラリー・トーク】

6月18日(土)、7月2日(土)各日 午後2時より 會田雄亮氏

【美術映画会】

6月25日(土)午後2時～3時頃 ルーブル美術館の彫刻「ミロのヴィーナス」世界・美の旅「ガウディとジョジョール」

7月18日(月)午後2時～3時頃「エルミタージュ美術館」上巻

【美術相談】

6月26日(日)午後2時～4時

宮田翁輔(油彩画)、舟橋淳司(水彩画)

7月9日(土)午後2時～4時

佐久間公憲(油彩画)、大和屋巖(水彩画)

【次回予告】

8月2日(火)～9月19日(月)ドラマとホエジーの画家 和田義彦展



陶板・虹渡り



岳稜



渋谷区立松濤美術館

The Shoto Museum of Art

東京都渋谷区松濤2-14-14

TEL.03-3465-9421

<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>